



「高校生に売れる筆箱」の商品企画についての学年全体のプレゼンテーションを、夏休み前から指導いただいた中京大学の坂田先生を迎えて開催しました。

第 5 回アクティブ・ラーニング講座（学年発表会）

テーマ：「アクティブ・ラーニング講座学年発表会」

日時：平成 27 年 9 月 9 日（火） 第 6、7 限 14:15～16:05

講師：中京大学総合政策学部 坂田隆文教授

会場：関高校体育館

中京大学の坂田先生から 3 回の事前講習を受けた後、7 月上旬にクラスごとの発表会を実施しました。クラス代表のグループ（各クラス 1 グループ）は、発表のための練習を夏休み中も行い本番を迎えました。今日の発表後、坂田先生からは「筆箱の売り場や価格なども取り入れて発表するとよかった」、また「今回の講座は、売れる筆箱を考えることが目的ではなく、自分たちの伝えたいこといかに相手に伝えるのか、その方法を工夫することが大切である」ことの 2 点をまとめてご講評いただきました。



パワーポイントや紙ベースで工夫して発表するグループ。



発表の中に寸劇をいれたユニークな発表を実践したグループ。



各グループのプレゼンテーション終了後、坂田先生から講評をいただいた。

【生徒の感想】

- 僕がこの AL 講座を通して最も学んだこと、それは「自分から」考え、行動し、責任を取ることの難しさです。自分から考える事は一見、自由のように見えて実はとても難しいことです。その考えにはどういうメリット、デメリットがあるのかを吟味し、行動に責任を持たねばならないからです。一方、人から言われてやることは、やる事が決まっていて、責任の所在は指示した側にあります。アクティブな学習や活動を行うための「自分から」の姿勢は大切なことでありながら、決して簡単なことではないのだとわかりました。（男子生徒）
- 私が AL 講座を通じて学んだことは、やはり自分から考えて動くことです。これまでは周りと同じ足並みを揃えるのがほとんどだったので、自ら動くことがこれほどできないものだと改めて気付かされました。大事な話を聞く時ならメモが必要なことや、何日までに案をまとめなければ行けないならば明日までにどうしなければいけないかなど、自分達がやるべき事はたくさんありました。この、先を見通して行動する力は社会に出てから大切なことだと思います。今回の講座でそれらの重要性に気づけたことを糧として、今はまだ完璧でないとしても、自分で考えて動ける人になっていきたいです。（女子生徒）
- 私は、この AL 講座を通して、自分から動くことの難しさと大切さを学んだ。グループでさあ筆箱を考える、となったときに自分は、案を全然出せなかった。独創的な筆箱を考えるあまり、機能性や価格の面から考えることを欠いてしまうなど、自分のアイデアがまとまらなかった。そんな中、グループのメンバーの一人一人がアイデアを出していくので、自分がとても無力に感じ、自分から行動することがこんなに至難だったのかと実感した。その反面、アイデアを出すことは上手くできなかったものの、プレゼンで自分の得意な絵を使って協力ができた。そのことで、自分の長所を見つけることができたと思う。

